

# 2019年度 学校自己評価システムシート ( 秀明大学学校教師学部附属秀明八千代高等学校 )

目指す学校像	常に真理を追究し、友情を培い、広く社会に貢献する人間形成を目的とする
--------	------------------------------------

重点目標	1 自主学習習慣を身に付け、生涯にわたって真理を追究する力を育成する。
	2 集団や社会の中で互いの個性を尊重し、健全に生活する力を伸ばす。
	3 家庭と連携し、持続可能なより良い社会の創生を目指して自己実現を図る志を養う。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価					学校関係者評価		
年度目標					年度評価(3月31日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>誓いの言葉、自学自習の記録により、目標を立てて具体的に努力を積み重ねる指導を行っているが、目標の明確化や学習意欲に課題があり、自主学習習慣に個人差がある。</li> <li>思考力・判断力・表現力を育成するためにスキルコードを開発し、指導と評価を一体的に改善しているが、指導・評価両面において改善途上にある。</li> </ul>	自主学習習慣の確立と学力の向上  授業の改善と指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>「自学自習の記録」を用いて生徒の現状を的確に把握する。</li> <li>総合的な探究の時間のまとめとして校内発表大会を実施する。</li> <li>授業・定期考査においてスキルコードを活用し、「知る喜び」を実感させる学習指導を行う。</li> <li>研修授業でスキルコードを活用し、教科で事後検討会を行って、授業改善を行う。</li> </ul>	①「自学自習の記録」による自主学習習慣の状況 ②総合的な探究の時間の学習状況  ③授業・定期考査におけるスキルコードの活用状況 ④研修授業の実施結果、検討会の状況 ⑤授業アンケートの改善状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>自学自習の記録は担任が毎日確認し、「1日を振り返って」の欄にはコメントを記入した。</li> <li>夏休みにオリンピック・パラリンピックの探究活動に課題を立てて取り組み、そこで得た情報を整理・分析してまとめ、文化祭で発表した。</li> <li>定期考査の問題にはスキルコードを記入し、出題の狙いを生徒にも周知できた。</li> <li>研修授業の指導案にはスキルコードを用いたロードマップを明記し、生徒を主体的に対話的な学びへ導く課程を可視化した。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>自学自習の記録は、各授業でどのような取り組みをしたかの記録をより充実させる。</li> <li>新型コロナウイルス感染拡大により、総合的な探究の時間の校内発表大会を実施することができなかった。</li> <li>定期考査によるスキルコード活用は年次進行で行っているため、来年度全学年で実施する。</li> <li>研修授業に限らず普段の授業の指導案でもスキルコードを用いたロードマップを活用する。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>心の学習を中心に、基本的な生活習慣を確立し、自他を尊重し、学校生活をより良くする指導を行っているが、人間関係能力の向上に課題がある。</li> <li>社会性を高めるために5つの約束を順守する指導を行っているが、インターネット等の影響により規範意識に課題がある。</li> <li>父母から授かったかけがえない命・身体を互いに大切にする指導を行っているが自己管理意識や自己肯定感の低さ等に課題がある。</li> </ul>	心の学習  5つの約束  健全な生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>新聞記事を事例に、正しい判断力や思考力を身につけさせる。</li> <li>頭髪・身だしなみの指導は、学年ごとに指導するとともに、全教員が一体になって行う。</li> <li>「善いことと悪いこと」「許せることと許せないこと」の区別をきちんと理解させる。</li> <li>生活アンケートや面談の実施によりいじめの防止に努める。</li> <li>各種訓練、講演会の実施と事前・事後の指導。</li> </ul>	⑥新聞記事の活用状況 ⑦頭髪検査の合格状況 ⑧生徒の人間関係の状況  ⑨「心の学習」の題材に対する「自学自習の記録」の記載内容  ⑩生活アンケート、面談の実施状況 ⑪危機管理マニュアルに基づく各種訓練、サイバー犯罪、薬物乱用防止等の講演会の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校生が知っておくべき時事問題は、新聞記事を教員が毎日選んで教室に掲示した。</li> <li>頭髪検査を学年集会で実施、身だしなみ指導は、毎朝の登校指導時から随時行った。</li> <li>文化祭・体育祭等の学校行事では、協同して取り組むことができた。</li> <li>パラリンピアン秦由加子選手の講演会の感想文は様々な問題を自分のことと捉え、自らの意見をまとめることができた。</li> <li>担任との面談を2週間に1回行った。また、生活アンケートは月に1回以上実施した。</li> <li>避難訓練は年に3回、犯罪被害防止講演会を1回行った。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>新聞記事を元にした意見発表、討論まで指導のレベルを引き上げる。</li> <li>「いかなるいじめも許さない」という学校の方針を堅持し、指導を継続する。</li> <li>2週に1回以上の面談、月1回以上の生活アンケートを継続する。</li> <li>次年度もサイバー犯罪、薬物乱用防止等に関する講演会を実施し、正しい判断力、思考力を養う。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭と連携し、保護者の立場に立って有為な社会人としての資質の育成を行っているが、保護者会等への参加率に向上の余地がある。</li> <li>志望する進路を実現させる指導を行っているが、3年間を見通した系統的な指導及び大学合格実績に課題がある。</li> <li>社会貢献の志を高める指導を行っているが、経済優先の風潮の中で、持続可能性を意識した公徳心が育っていない。</li> </ul>	家庭との「共育」「協育」  志望進路の実現  持続可能な社会への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者会・授業公開・三者面談を行い、学習面や生活面について、十分な話し合いの場を設ける。</li> <li>CASプログラム、a-PGTにより系統的な進路指導を実施する。</li> <li>難関大学のAO・推薦入試に活用できるポートフォリオの蓄積を指導する。</li> <li>全ての学習をSDGsの視点で捉え、地球社会への貢献を意識して活動させる。</li> <li>ユネスコスクール登録に向けて実践を積み重ねる。</li> </ul>	⑫保護者会、授業公開、三者面談の状況  ⑬進路希望状況、進路実績 ⑭学びの記録、学校行事の振り返りなどのポートフォリオ  ⑮SDGsの学習活動記録	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者会(2回)、授業公開(1回)、三者面談(2回)を実施し、多数の参加があった。</li> <li>2学期の保護者会は秀明大学で行い、充実した施設・設備を保護者に見てもらうことができた。</li> <li>希望する進路が決定するように努め、上級学校への進学率は88%、内4年制大学への進学率は64%であった。</li> <li>総合的な探究の時間を含め、全ての学びの記録を1つのファイルにまとめることができた。</li> <li>校外学習ではSDGsの考え方にに基づき、事前・事後の学習を充実させた。</li> <li>SDGsワークショップでカードゲームに取り組み、SDGsに向けてどう行動すべきかのイメージを確立することができた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者会には今年度以上の参加を呼びかけ、学校と家庭の「共育」、「協育」を促進させる。</li> <li>来年度1学期の保護者会は新型コロナウイルス対策を講じる。</li> <li>大学入試における面接・小論文・プレゼンテーション指導は組織的かつ計画的に行う。</li> <li>学習記録の蓄積だけでなく、その活用を促していく。</li> <li>SDGsに向けて生徒一人ひとりが行動できるよう担任は教科横断的に生徒を指導し、その記録を蓄積する。</li> </ul>

実施日：令和2年6月13日

・「自学自習の記録」のやり取りで、担任の先生との信頼関係を築くことができています。アドバイスを受けて自主学習へ積極的に取り組んでいる。  
 ・「自学自習の記録」を毎日記入することで、努力を積み重ねる習慣が自然に身につく。  
 ・将来の希望を具体的に考えた上での探究活動はとてもよい取り組みであった。  
 ・定期考査の前にある秀明独自の検定テストにより、出来なかった所は復習を重ねることで身につけ、自信を持って定期考査を迎えることができる。

・新聞記事を扱うことで時事問題を身近に感じることができている。「よいことと悪いこと」を判断する力を身につけられる。  
 ・月に一度の頭髪・身だしなみ点検により、端正な身なりを心掛ける習慣が培われる。  
 ・生活アンケートや担任との個別面談の実施で、生徒が気持ちよく学校生活を送れる配慮がされている。その結果、生徒間のトラブルの発生が抑えられている。  
 ・定期的な生活アンケートにより、思ったことを溜めることなく先生に話せる環境が整っている。  
 ・沢山の訓練や講演会の実施で、知識や情報を得るとともに、考える力を育成することができている。  
 ・新聞記事の活用は社会を知る上でとても良いが、ネガティブな事件等が多いので、明るく楽しい将来への期待を学校では醸成してほしい。

・保護者会、授業公開、三者面談により普段の学校生活や授業の様子を十分に把握することができる。  
 ・大学合格実績向上には、1年生の頃から上級生の状況など、多くの情報を公開することが有効である。  
 ・SDGsにおける学びでは、生徒にとって身近な所から社会貢献できるという点でとてもよい機会になっている。